

館報

第467号

信濃町教育委員会

信濃町の石造文化財

狛犬

狛犬

神社の前の鳥居の周辺に守護と装飾を兼ねて置かれている一対の神獣像である。狛犬は、高麗犬とも書かれる。昔、朝鮮半島の高麗の国から伝えられたものといわれ、悪魔を除く力があると信じられている。向かって右側が口を開いた角なしの「阿像」、左側が口を閉じた角ありの「吽像」で狛犬です。

(信濃町の石造文化財より)



▲ 柏原地区 諏訪神社



▲ 古間地区 針ノ木神社



▲ 柏原地区 諏訪神社



▶ 柏原地区 熊倉神社

贈書 子どもたちを抱きしめて

信濃町「癒しの森事業推進委員会」委員長の関塚賢一郎様より「子どもたちを抱きしめて」マ先生の歩んできた道」(著者、松戸南保育園長・倉田裕子さん、文藝春秋企画出版部を寄贈していただきました。平成19年社会福祉功労者表彰20年厚生労働大臣表彰24年瑞宝単光章を受章されています。倉田さんがこのように活躍されているのは、母方の実家のある信濃町(古間村)へ昭和18年夏疎開し二期から「分校場」と呼ぶ地元元の国民学校(スルスギ分教場)へ通いました。昭和25年中学を卒業すると「集団就職」で名古屋へと。本の中で、もし疎開していなかったら、私は弱虫のまま大人になり、社会に出てからうまく人間関係を結べなかったに違いありませんと書いてあります。蔵書として皆さんに読んでいただきたいと思います。



ご縁があり昨年春からこの『館報』に携わることになりました。それまで広報というものにまったく興味を持たず、読まずに来てしまいました。今では楽しみに隔々から隅まで読んでいます。その中の4ページ分、『館報』での知る情報をこれからも楽しんでいただけたらと思います。

十八歳で信濃町を離れ、七年前に夫の転勤を機に実家の隣に家を建て移り住みました。(現在も夫は単身赴任中です)

当時、息子は六歳。入学式の準備でわくわくドキドキしていました。引越して来たばかりで友達を一人も知らない状態での入学式は、不安もとても大きかったです。しかし、入学式が始まり来賓の方々の祝辞をいただいている中、最前列で堂々とコクリコクリと居眠りをしていた息子の姿を見て、私たち親は「こりや大丈夫だ」と安心した

事を覚えていきます。小中一貫校になり、この春から八年生になります。いろいろな地区の友達が増え、家にも遊びに来てくれるので嬉しいです。

最近では、薪ストーブの薪割りや薪運びなど男手が必要な事も進んで手伝ってくれるのでとても助かります。

その薪ストーブ…。家を建てるときに夫が唯一希望した物で、我が家になつかなかった暖房器具です。JOTUL (Eツール) EOODイツ製でかなり惚れ込んだ薪ストーブです。火がつくと時間が止まったかのように静かな空間になります。ビールやワイン片手にゆらゆら揺れる炎を見つめてその場から離れませぬ。炎に癒し効果があるようです。ぽかぽかと暖かくストーブの前の椅子に座りながら、うつらうつら…寝てしまいます。

薪の作業は一年を通して、真夏も真冬もあるのでとても大変です。年を重ねる度、作業をする手も重く感じて来ますが、それ以上に息子が手伝ってくれるようになったので男手は二倍になり、本当におかげです。



新着図書

☆ミヒヤエル・エンデが教えてくれたこと
時間・お金・ファンタジー
池内 紀ほか

☆オレの宇宙は
まだまだ遠い
益田 ミリ

☆幸福な生活
百田 尚樹

☆パパの電話を
待ちながら
ジャンニ・ロダリー 著
内田 洋子 訳

☆何のために
生まれきたのか?
希望のありか
100年インタビュー
やなせたかし

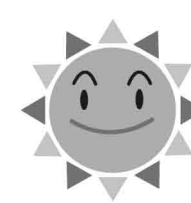
☆翔ぶ少女
原田 マハ

☆ひまわりのおか
ひまわりをうえた
八人のお母さんと
葉方 丹

☆穴
小山田浩子

☆恋歌
朝井まかて

☆炎凍る
樋口一葉の恋
瀬戸内寂聴



窓の権

近ごろ感じること

社会教育委員 田辺 洋介

この頃こんな話しを耳にします。自分の子供に「うちには給食費を支払っているから頂きますは言わなくていいから」と話すのだそうです。頂きますという言葉は、食物となる動植物又それらを生産し、また調理してくれた方々に対して感謝の気持ちを現す言葉という事はだれもが知っている事です。一家団らんの際に頂きますは言う必要はないからと言うのと、食べ物などに対して感謝の意味がある言葉をお話すると子供達の教育にはどちらが適切でしょうか。私は後者だと思えます。この家庭だけが給食費を支払っている訳ではなくほとんどの家庭は支払っている訳ですから、これを権利と言うのはどうでしょうか、これから成長して行く子供達に、のびのびとした心と気持ちを持って生きていくってほしいと思います。

時々報道されるニュースに、いじめのニュースがあります。子供が自殺しその後自殺をほめかす遺書

が見つかり学内でいじめがあったのではないか、周りの関係者はそれに気付いていなかったのかとマスコミなどの報道があります。その後には、教育評論の方々のお話し、でもなかなかこれといった解決策が見つからずに、話されるのは、この子の普段からの様子、性格等いつもの答え、なぜもつと早く気がつかなかったのかなど報じられます。思うのですが、報道されるのは、いじめられた本人の事が多く、いじめた側の事はあまり出て来ません。まだいじめと言う言葉が出てくる前は、学校には必ずいじめっ子といわれる子供が居たものです。「中には言葉だけでなくたたかれたりした子供も、けっこう居たものです。」親からうちの子がA君にいじめられたなどと先生方に連絡が入ります。先生はA君になぜこんな事になったのかを聞き、その話をするとA君は頭をペコッと下げて反省をする。中には元気な子

どもたちがいて、いじめられると「A君なんにいじめの謝りなさいよ」とつめ寄る。するとA君は後退りして何も言えなくなり気まずい顔してそれで終る。昔のいじめは今のいじめと異なり一人対一人、一人が複数をもたれた複数対複数というケースでした。今は複数で一人をという場合がほとんどです。しかもいじめられているという事がまわりからはほとんど解らない事が現状です。自分に対するまわりの人の態度がいつもと違う事でいじめにあっている事がわかり相談する相手も少なく、しいては思い込んで。本当に悲しい事です。なぜわからないのか、評論家の人の話しによるとそこには今では誰もを持っていないケータイが関係している場合が多いのだそうです。メールのやりとりでいじめが広がって行くのでまわりからはほとんどわからないという事です。大変便利な物ですが、ゲームなどで多額の利用料を請求されたとか、変なサイトに入ってしまったニュースが多く報じられています。社会人になつている人又仕事に使う人達とは違い、まだ学校に通う子供達にはあまり必要

- ☆翔ぶ少女 原田 マハ
- ☆ひまわりのおか 葉方 丹
- ☆穴 小山田浩子
- ☆恋歌 朝井まかて
- ☆炎凍る 樋口一葉の恋 瀬戸内寂聴
- ☆幸福な生活 百田 尚樹
- ☆オレの宇宙は 益田 ミリ
- ☆パパの電話を待ちながら ジャンニ・ロダリー 著 内田 洋子 訳
- ☆何のために生まれきたのか? 希望のありか 100年インタビュー やなせたかし
- ☆翔ぶ少女 原田 マハ
- ☆ひまわりのおか 葉方 丹
- ☆穴 小山田浩子
- ☆恋歌 朝井まかて
- ☆炎凍る 樋口一葉の恋 瀬戸内寂聴
- ☆幸福な生活 百田 尚樹
- ☆オレの宇宙は 益田 ミリ
- ☆パパの電話を待ちながら ジャンニ・ロダリー 著 内田 洋子 訳
- ☆何のために生まれきたのか? 希望のありか 100年インタビュー やなせたかし